



8月4日・5日の二日間、第49回教育課程編成講座をラッセホール・神戸市教育会館でおこなった。

一日目に開催した前期講座の全体会では、「当事者意識を育むための人権教育を考える」をテーマに、コーディネーターに五百住満さん(常任研究所員)、林祥隆さん(人権教育部会研究所員)、早川智洋さん(平和教育部会研究所員)をシンポジストに、シンポジウムをおこなった。(要旨)

その後、分科会に分かれて討議をおこなった。

人権で一番大事なのは、一人ひとりの子どもたちも含め、世界、文化、生活自分と他者との人権を自分事として実感して捉える教育をすすめていくこと。今教育をめぐる状況はどうなのか、しつかり捉えながら見ていく必要がある。新しい時代に関わる教員は本当に過酷な働き方をする。

人権で一番大事なのは、一人ひとりの子どもたちも含め、世界、文化、生活自分と他者との人権を自分事として実感して捉える教育をすすめていくこと。今教育をめぐる状況はどうなのか、しつかり捉えながら見ていく必要がある。新しい時代に関わる教員は本当に過酷な働き方をする。



五百住 満さん

学校とともに、保護者、地域との関係、人権、平和、命、教育、それらをどうしていくのか、充実するためにどうすればいいのかを考えなければならない。

生きぬくために私たちの専門性について考える必要がある。一人ひとりの子どもに寄り添いながら、子どもたちの未来をゆたかにしていく人権・平和教育のあり方実践はどうあるべきなのか。予想ではなく、頭でわかつているだけではなく、当事者意識を持つて人権・平和教育を考えなければならぬ。

「かわいそうだな」「大変だつたな」と終わるのではなく、「もし自分や身の回りに起こつたら」と、自分が事として捉えていくことが大事である。

二つ目が子どもたちが主体的に話し合えるような場をつくり、何かを意識し、変容を見ることが大事である。

特に人権の視点を入れながら、自己を厳しく見つめ直すことが必要である。きらいごとの道徳、心情、道德、読み取りの道徳から脱却していくしかければならない。

そのためには、徹底的に討論して活動させていく授業をしていくことで、授業の中でもどう変わったかということを見つめていく必要がある。

それが少しおかしいところがあるかもしれない「違った視点があるのではないか」という考え方を教員が持ち、子どもたちと一緒に授業をしていくこと

が大事である。

育児と仕事の両立を支援する休暇制度や経験者からのアドバイスについて、兵教組より説明をおこなつた。

○参加者感想より

○育児のための休暇制度に

## 第49回教育課程編成講座（前期）

# 当事者意識を育むための 人権教育を考える



林祥隆さん

「命は大切」「戦争反対」というような、抽象的・心的・情的な価値観で正論を語るだけの平和教育・平和学習で終わつていなか。そういった平和の大切さを教える指導ではなく、考える視点が大事。まずは教員が考える視点を持つ必要がある。もう少しどういった視点で物事を捉えればいいのか、実際にどういう行動を起こせばいいのかを知りたいと思つている子どもが多いのではないかと思う。これから先どういう学習をしたいのかという点では、持続可能、少し発展的平和学習ができたらと思う。例年通り今までやつ



早川智洋さん

てきたことをそのままやればいいのではなく、今の時代に何が必要なのかといううな学習が必要である。また、何が正しいかを教えるのではなく、とにかくいろいろな意見を出し、それを認め合うような学習が必要である。

そして偏見を持つていなか、また自分の考えが正しいと思い込むのではなく、世間一般の人たちと少しづ正在いるかもしないという自分の価値観を疑うことでも大事である。

社会に参画する態度と方

向性が子どもだけでなく、大人にも、教員にも大事である。まずはそのような身近なところから、教員が社会に目をむけていく必要がある。

ことも大事である。

社会に参画する態度と方

向性が子どもだけでなく、大人にも、教員にも大事である。まずはそのような身近なところから、教員が社会に目をむけていく必要がある。

## 教職員共済生活協同組合 兵庫県事業所主催 カムバックセミナー



8月19日と22日に、職場復帰を控える育児休業中の組合員を対象とした「カムバックセミナー」をオンラインで開催し、二日間で約90人が参加した。

育児を支援する休暇制度や新型コロナウィルス感染症に関する特別休暇、学校現場の最新情報、ライフステージの変化に対応した生活設計等の情報提供をおこなつた。

またグループ交流では、各地区・地域組合ごとにわかれ、育児の悩みや職場復帰に対する思いを共有した。

# 育休中組合員の現場復帰をサポート!

・生涯で保険の支出は大きいと思うので、精査しないといけないと改めて思った  
・見直そうと思った

ついで、詳しく知ることが

でき、復帰後の保育園探しの選択肢が増え、安心した

・「子どものことで年休を使い果たしていた」と、先輩から伺つことがある。様々な休暇制度の権利を獲得してくださった先輩方に深く感謝している

・「使い果たしていた」と、先輩から伺つことがある。様々な休暇制度の権利を獲得してくださった先輩方に深く感謝している

・「子どものことで年休を使い果たしていた」と、先輩から伺つことがある。様々な休暇制度の権利を獲得してくださった先輩方に深く感謝している

## プールの帰り道

### びっくりたまご

川西市立けやき坂小学校 3年  
山本 凱心

丹波市立崇広小学校 2年  
吉竹 尊悠

